



出勤前 謡でスッキリ

能楽師に教わりお寺で朝から声を出す参加者—港区で

お寺で出勤前に能を体験する企画「朝ZERO」が二日、港区の光明寺で開かれ、サラリーマンやOLが朝から謡に挑戦した。若手能楽師たちが若い世代に能への関心を持ってもらおうと初めて開催。これまで能の知識がまったくない参加者にも、雑念が「ゼロになる」と好評だった。

二十、三十代の女性を中心に約二十人が参加し、結婚式でおなじみの「高砂」をうたった。ほとんどが初心者で、能楽師の喜多流、

客層拡大狙い 若手能楽師が企画

港区・光明寺で能体験会

大島輝久さん(三三)が「姿勢を正し、鼻から大きく息を吸って」と指導した。

体験した埼玉県新座市の会社員宮崎美樹さん(三三)は「早起きしただけでも気分がいい。お寺だと、心が清められる」と笑顔を見せ、勤務先に向かった。

能の客層は年配者が多く、若い世代に能楽堂の敷居は高く見られがち。大島さんは「謡の体験を機に能楽堂に足を運んでほしい」と期待を寄せた。

八、二十四、三十日も午前七時四十五分～八時半に開く。無料。各回三十人程度。申し込みは<http://www.asazero.higan.net/>